

## 井上明夫新聞～日田市議会だより～



今年は統一地方選挙の年で去る4月24日には日田市議会議員選挙が行われました。

私は3期目への挑戦でしたが皆様方の暖かいご支援をいただき、無事当選することができました。

また、5月16日に開催されました臨時議会の結果第25代の日田市議会議長の大役を仰せつかることになりました。

責任の重さを痛感するとともに、議会がひとつになり「議会改革」を目指す環境づくりをしていきたいと思えます。

### 6月議会の結果

## 国民健康保険税条例の改正で保険税を2%引き下げ!!

今回上程された各議案のうち、「暴力団排除条例の制定」「企業立地促進条例の一部改正」「一般会計補正予算案(中津江・上津江小学校統合による小中一貫校設計委託料等約2,500万円の増額)」などが全会一致で可決された後、委員会審議で全会一致ではなかった案件について起立採決がなされました。

#### ☆今年度の国民健康保険税を平均で約2%下げる条例案

(下げ幅が争点となりました) →起立多数(20人)で可決。

☆「高齢者を孤独死・自殺から守る施策を求める請願」(市に「一人暮らし高齢者担当」を置くことが争点になりました) →起立多数(14人)で可決。

★「国民健康保険税の引き下げなどの改善を求める請願」(国保会計に一般会計から財政支援する項目が争点になりました) →起立少数(9人)で否決。

## 「議会改革検討委員会」を設置してスタート!!

本会議終了後には、第1回の「議会改革検討委員会」が開催されました。

「議会改革」については4月の市議会議員選挙で多くの候補者が抱負として掲げていましたが、その思いを形として示す必要があります。

私は議長就任後に議会運営委員会や全員協議会で趣旨説明を行い、6月議会中の検討委員会の設置を目指していました。

検討委員会は6つの会派から一人ずつの委員と私を加えた7名で構成され、今後、活動の方向性を検討し、議会改革を進めていく予定です。

市民に開かれた議会を目指す  
日田市議会議長

井上 明夫さん (54)



ひと

「立場の違いに関係なく、自由に議論できる場にし、市民に開かれた議会を目指す」と抱負。今春の統一地方選で新人7人が当選するなど新旧交代が進んだ。「過去2期の経験を生かしてリーターシップを発揮したい」と誓う。

市の抱える課題に過疎高齢化を挙げる。地元の大鶴地区は1950年代に4500人いたが、現在は1800人を切るまで減少。「地場産業の

チェック機能を強化

振興で人口の受け皿を増やすべきだ」と訴える。同時に「諸課題を解決するため、情報公開と市政のチェック機能の強化も図りたい」と言う。

2003年に初当選。「自ら率先して情報公開したい」と自身の活動をまとめた議会だよりを年4回作成。毎回1500部を配って歩く。05年から「市民との距離を縮めたい」と始めたブログを通じて情報発信も続けている。尊敬する人物は同市出身で親戚の元大蔵大臣・井上準之助(1869〜1932)。「全国各地を回って政策を説いた人。私も自分の足で市民の声を聞いて回りたい」

大学卒業後に岐阜県の原木生産会社に就職。25歳で家業の林業を継いだ。趣味はジョギング。鶴河内町で妻、高校生との娘と3人暮らし。同市出身。

↑「大分合同新聞」(平成23年6月7日付)で紹介されました。

～本年7月1日現在の日田市議会の会派の構成は下の一覧表のとおりです～

会派名	所属議員名(敬称は略しております。*印は会派の代表者)	人数
市政クラブ	井上明夫(議長)、*中野靖隆、嶋崎健二、樋口文雄、坂本盛男、森山保人	6名
互認会	*立花正典、田辺徳子、岩見泉哉、財津幹夫、居川太城	5名
社民クラブ	*高瀬 剛、溝口千壽(副議長)、古田京太郎、羽野武男	4名
新世ひた	*飯田茂男、赤星仁一郎、吉田恒光、石橋邦彦	4名
日本共産党	*大谷敏彰、日隈知重、権藤清子	3名
公明党	*松野勝美、坂本 茂	2名
	合 計	24名

♪ウェブサイトは「井上明夫」で検索することもできます♪

[連絡先] 井上明夫 TEL.0973-28-2750/携帯 090-87666807

